

山王小学校

# 家庭学習の手引き

～たくましく生きる山王の子ども～



小学校の学習は、中・高等学校の学習につながる基礎的・基本的な内容です。本校では、これらの内容をより確実に身につけたり、毎日自分から学習する習慣の定着を図ったりするために、学校と家庭とが協力することが不可欠と考え、この手引きを作成しました。

保護者の皆様には趣旨をご理解いただき、この手引きを参考に家庭学習の習慣化に向けてご協力いただきますよう、お願いいたします。

# 1 家庭学習の意義

家庭学習は、なぜ必要なのでしょう。家庭学習によって、次のような教育的効果が期待できます。

## ①学習内容の定着

学校で学習した事を家庭で復習することにより、習熟・定着を図ることができます。特に漢字や計算などでは、毎日繰り返し練習することで定着していきます。学校で「分かった」ことが、反復練習によって「できる」という自信に変わります。

## ②脳の活性化

読み・書き・計算を毎日繰り返すことは、脳の活性化につながると言われています。脳も手足の筋肉と同じように、毎日繰り返し使うことで活発に働くようになるのです。鍛えれば鍛えるほど発達し、たくましくなって、脳がいろいろなことにうまく使えるようになります。小学生のうちから、どんどん脳を鍛えましょう。

## ③学ぶ習慣を身につける

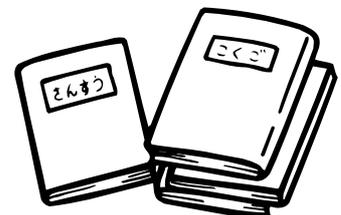
毎日家庭学習を続けることにより、自ら進んで学ぶ習慣が身につきます。毎日続けることで、やがて、当たり前前の習慣になります。少しずつでも継続することが大きな力につながります。低学年のうちから、毎日欠かさず家庭学習をすることが大切です。

## ④がまん強さ・根気・集中力をつける

家庭学習の最大の敵は、テレビやゲームなどの誘惑です。この誘惑に打ち勝つことにより、がまん強さ、根気、集中力を養うことができます。テレビやゲームは時間を決め、学習や読書などの時間をしっかりと確保したいものです。そのためには「テレビを消す」「みんなで読書をする」といった家族全員の協力が必要になります。

## ⑤家族のふれあい

「本を読んでいる時、横で聞いてあげる」「勉強が分からないとき、教えたり調べたりしてあげる」など家庭学習をしている子どもに親がかかわることにより、コミュニケーションがはかれます。家族がふれあう機会が増えることは、子どもの精神の安定につながり、心身・頭脳も健やかに育ちます。



## 2 家庭学習のポイント（保護者の皆様へのお願い）

家庭学習の意義は前述の通りですが、効果が上がるかどうかは、保護者の姿勢が大きく影響します。子どものやる気を引き出すようなはたらきかけをお願いします。

### ①帰ったらすぐに、毎日コツコツ行う

学校では、各学年に応じた宿題を毎日出しています。家庭学習は後回しにしないで、まず一番に行う習慣をつけることが大切です。習い事やお出かけ等ですぐにできない日もあるかと思いますが。その場合は、テレビやゲームはなしにして時間を生み出すことも必要になってきます。真っ先に行えるようにはたらきかけていただければと思います。

### ②テレビを消し、集中して取り組む

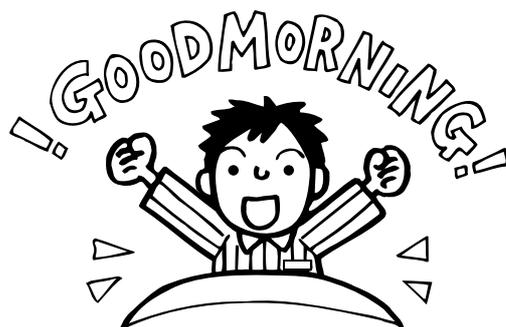
家庭学習の効果を上げるためには、集中して学習に取り組むことが大切です。「〇〇しながら」長時間学習してもなかなか成果は上がりません。テレビやゲームの音が聞こえるような環境では、子どもは集中できません。また、マンガやおもちゃが近くにあるのも、気が散ってしまいます。落ち着いて学習ができるような環境を整えましょう。

### ③学力アップは、規則正しい生活から

「早寝・早起き・朝ご飯」は、生活リズムの大原則です。生活のリズムを整えることが学力向上につながることは、調査でも明らかになっています。夜遅くまで勉強をして睡眠時間が少ない子よりも、7時間以上睡眠時間を確保している子の方が、学力が高いというデータもあるようです。学校でも家庭でも生き生きと元気に学習に取り組めるように、早く寝かせ、早く起こし、朝ご飯をしっかりと摂るようにしましょう。

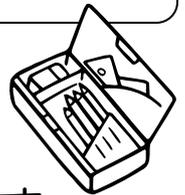
### ④子どものがんばりを認め、ほめて励ます

子どものがんばりを認め、ほめたり励ましたりすることにより、自信がつき、進んで学習しようという意欲が高まります。ついつい口うるさくなりがちですが、強制したり間違いをきつく叱ったりすることは、学習意欲を減退させてしまい、逆効果になります。



### 3 家庭学習の方法

- 1 •担任の先生から出される「宿題」に最初に取り組みましょう。
- 2 •時間が余ったら、自主学習も取り入れましょう。（本年度の重点です）
- 3 •どうしても勉強に飽きてしまうときは、読書やお絵描きでも構いませんので、必ず机に向かいましょう。机に向かう習慣が大切です。（特に低学年）
- 4 •勉強が終わったら、翌日の準備をしましょう。鉛筆を削り、準備物をしっかりと整え、明日の学習予定を頭にいれておくように心がけましょう。



このような内容を基本（宿題）として出しています

学年	国語	算数	その他
1年生	ひらがな漢字プリント	プリントまたはドリル	音読・日記等
2年生	漢字練習・プリント	プリントまたはドリル	音読・日記等
3年生	漢字練習・プリント	プリントまたはドリル	音読・日記等
4年生	漢字練習・プリント	プリントまたはドリル	音読・日記等
5年生	漢字練習・プリント	プリントまたはドリル	音読・日記等
6年生	漢字練習・プリント	プリントまたはドリル	音読・日記等

### 自主学習（参考例）

国語	算数	社会・理科・総合
<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字練習 ・漢字ドリル</li> <li>・辞書による意味調べ</li> <li>・テスト直し</li> <li>・読書をして感想文を書く</li> <li>・詩を書く</li> <li>・市販のドリルや問題集</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計算練習 ・計算ドリル</li> <li>・教科書の問題を解く</li> <li>・テスト直し</li> <li>・市販のドリルや問題集</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習した内容や関連した興味のある内容を、本やホームページ等の資料で調べる。</li> <li>・授業で学習したことをノートにまとめる。</li> <li>・身近な植物や動物の観察</li> <li>・都道府県を覚える</li> <li>・テスト直し</li> <li>・市販のドリルや問題集</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>

# 4 各学年の家庭学習について

子どもたちの発達段階に応じた、保護者としてのかかわり方や学習の重点個所などについて学年ごとにまとめていますので、参考にしてください。

## 1. 2年生

学習時間の目安  
20分程度

### こんな時期です

- 何でも知りたがっている。
- がんばったこと、よいところをほめてほしいと思っています。
- 一人で学習することや、やり方を決めることはまだ難しいです。

### ◇いっしょに取り組んで、やる気をおこす◇

いっしょに、「学習内容」や「やり方」をきめましょう。  
できたことをほめることで、意欲が高まります。

### 【ポイント！】

#### ①子どもの学習に関心を！

「家でも勉強する」という習慣をつけましょう。

- ・少ない時間でも、一緒にやると効果的です。
- ・一緒にできないときは、後で目を通すようにしてください。

#### ②学習環境について

「いつも決まった学習場所」をつくりましょう。

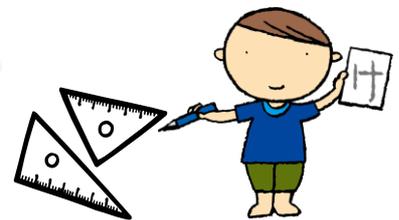
- ・テレビは消すように、家族が協力する。周りの気遣いが子どものやる気につながります。

#### ③家庭と学校の協力

学校からの連絡やお便りを一緒に確かめましょう。

- ・毎日、連絡帳を開いて見てみましょう。忘れ物が少なくなります。

## 学校で家庭で身につけたい力



### 習慣づけの「1年生」

- ・鉛筆を正しく持って字が書ける。 ・ひらがな・カタカナの清音が読めて書ける。
- ・助詞「てにをは」を使い分けて文章が書ける。 ・配当漢字のすべてが読め、8割以上が書ける。
- ・たし算やひき算が正確にできる。 ・時計（アナログ）を見て、何時・何時半か読むことができる。

### 習慣が定着しはじめる「2年生」

- ・配当漢字のすべてが読め、8割以上が書ける。 ・順序よく話をするができる。
- ・九九がすらすら言える。 ・たし算ひき算、かけ算が速くできる。
- ・筆算をきれいに書きながら計算ができる。 ・決められた長さの直線を正確に書くことができる。
- ・時計（アナログ）を見て、何時何分か読むことができる。
- ・長方形・正方形・直角三角形の意味を理解することができる。

## 3. 4年生

学習時間の目安  
30分～40分

### こんな時期です

- いろいろなことに興味を示し、行動範囲も広がります。
- 好きなことに熱中するようになります。
- 自分でやろうとすることが増えてきますが、まだ手助けは必要です。

### ◇認めて・ほめて・自信をつける◇

家族の温かいアドバイスや励ましの言葉によってやる気を起こします。  
宿題を見るなどの手助けをして応援すると、少しずつ自分でできるようになります。

### 【ポイント！】

#### ①子どもの学習に関心を！

がんばりを見逃さず、励ましの言葉をかけましょう。

- ・分からないところはいっしょに考える。
- ・子どものちょっとしたがんばりを認める。

#### ②学習環境について

学習を始める時間をいっしょに決めましょう。

- ・テレビは消すように、家族が協力する。周りの気遣いが子どものやる気につながります。
- ・テレビゲームの時間を決めましょう。

#### ③家庭と学校の協力

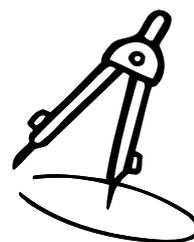
学校からのお便りを家族に手渡す習慣をつけましょう。

- ・お便りを置く場所を決める。
- ・学校でのことを話題にしましょう。(ただし、しつこく聞くことは逆効果です)

## 学校で家庭で身につけたい力

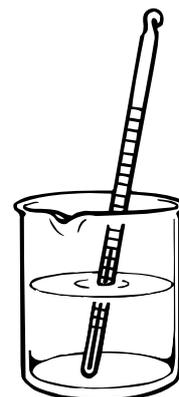
### 分岐点を乗り越える「3年生」

- ・ 配当漢字のすべてが読め、8割以上が書ける。
- ・ 主語と述語の意味が分かる。 ・ 修飾、被修飾関係が分かる。
- ・ 国語辞典の使い方が分かる。 ・ ローマ字を正しく読み書きできる。
- ・ かけ算やわり算など、正しい手順で計算ができる。
- ・ はかりを使って重さが読める。
- ・ コンパスを正しく使うことができる。



### 「やればできる」を感じる「4年生」

- ・ 配当漢字のすべてが読め、8割以上が書ける。
- ・ 漢字辞典の使い方が分かり、使い方に慣れる。
- ・ 文と文のつながりを考えながら、適切な指示語や接続語を使うことができる。
- ・ わり算の筆算ができる。 ・ 倍を使った文章題が正しくできる。
- ・ 地図を使って地名や場所を調べることができる。
- ・ 47都道府県の位置が分かり、正しく名前を書くことができる。



## 5. 6年生

学習時間の目安  
50分～60分

### こんな時期です

- 自分でできていると思いますが、見守ってほしいとも思っています。
- 得意な教科も苦手な教科も意識するようになります。
- 心も体も成長するときです。バランスが崩れ、不安定になることもあります。

### ◇見守って・伸ばす◇

子どもの話をよく聞き、様々なことについて語り合うことで、子どもは自分自身を見つめ、将来の夢や目標をもって努力するようになります。

### 【ポイント！】

#### ①子どもの学習に関心を！

計画を立てて自力で学習を進めるよう見守りましょう。

- ・他の子と比べず、昨日の我が子と比べてほめる。
- ・子どもの取り組みの実態を知り、アドバイスする。

#### ②学習環境について

自分に合った生活リズムを作りましょう。

- ・テレビは消すように、家族が協力する。
- ・帰宅後、夕食前などに学習に取り組む時間帯を決める。

#### ③家庭と学校の協力

思春期を迎え、子どもの心と体について気になることがあれば、担任に相談しましょう。

- ・子どもとの会話をできるだけ多くする。

## 学校で家庭で身につけたい力

### 自ら学ぶ「5年生」

- ・配当漢字のすべてが読め、8割以上が書ける。
- ・今まで習った漢字を使った熟語の8割以上が書ける。 ・修飾語、接続語が正しく理解できる。
- ・小数のかけ算やわり算ができる。 ・分母が同じ分数のたし算やひき算ができる。
- ・百分率を使った問題を解くことができる。
- ・パソコンでローマ字の入力ができる。

### 中学校生活につながる「6年生」

- ・小学校で習得すべき漢字のすべてが読め、8割以上が書ける。
- ・小学校で習う漢字を使った熟語の8割以上が正しく書ける。
- ・分数や小数のたし算、ひき算、かけ算、わり算ができる。
- ・量の単位の大きさが分かり、単位間の変換ができる。
- ・歴史上の人物や出来事について、だいたい説明できる。 ・代表的な年号を覚えている。
- ・日本国憲法の前文の意味を理解できる。 ・「三権分立」等、社会用語のだいたいが説明できる。
- ・理科の実験道具の正しい扱い方を知っている。 ・人や動物、植物のからだの仕組みが理解できる。
- ・パソコンで、速く正確にローマ字入力ができる。

